

平成26年度
阪南市外部評価委員会
報告書

平成26年8月
阪南市外部評価委員会

はじめに

阪南市外部評価委員会は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき設置された附属機関であり、評価視点の多角化により行政評価の客観性を向上し、総合計画の実効性を高めるため、総合計画に掲げる施策について市が実施した内部評価を検証することを主な役割としています。

平成 26 年度は、6 月 12 日(木)に市長の諮問を受け、平成 25 年度における各施策の取り組みに対する内部評価結果を検証するために、計 5 回の委員会を開催しました。委員会では、外部評価の対象とする 10 施策を選定したのち、評価対象とした施策の担当課へのヒアリングを実施し、評価シートとヒアリングの内容を踏まえて判定区分等について協議しました。

その結果、各施策のめざす姿の実現に向け、特に重要な課題を有し迅速な対応を必要とする施策、また、これまで以上に積極的かつ具体的な取り組みを必要とする施策については、判定区分を「★：施策のめざす姿にやや近づいている」としました。言うまでもなく、「★★：施策のめざす姿に近づいている」と判定した施策についても、各施策のめざす姿の実現に向けて、これまで以上に着実に取り組まれることを期待します。

さらに、今回の評価結果を前向き、かつ効果的に活用するとともに、活用の方針や活用した結果について職員全体で情報共有することはもとより、市民に積極的に情報公開し、各施策における次年度以降の取り組みに反映されることを切に希望します。

なお、評価結果を施策の見直しに積極的に活用していくためには、多くの関係者が行政評価の仕組みを理解し、納得できる評価結果を導き出せるよう、内部評価及び外部評価の精度を向上させることが重要な課題となります。そのための方策のひとつとして、阪南市の行政評価の仕組みそのものについても PDCA サイクルを取り入れて、毎年少しずつよい仕組みになるよう改善を続けていくことが必要です。

最後になりましたが、今回の外部評価委員会の答申と提言が、総合計画に掲げる将来の都市像「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南」の実現に向け、十分に活用されることを期待いたします。

平成 26 年 8 月

阪南市外部評価委員会

1. 答申（対象施策の評価結果）

施策名 (施策コード)	協働社会の形成 (101)	内部評価	★★	外部評価	★★
判定理由	<p>目標を達成できていない成果指標も見られるが、市民参画手続条例の施行や市民協働事業提案制度の実施・提案された事業の実施など、「施策のめざす姿」を実現させるうえで重要な取り組みを進めることができたため、「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p> <p>ただし、成果指標「自治会加入率」について、その低下は全国的な問題ではあるものの、自治会は地域における防災活動や高齢者・子どもの見守り等を進めるうえで重要な役割を担う団体である。地域におけるコミュニケーションの重要性を十分に理解し、自治会と協力して具体的・積極的なアピールを続け、目標値の達成につながることを強く期待したい。</p>				
委員提案 (=平成27年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、お客様アンケートを実施するにあたっては、対象とする世代を設定し、その世代に応じた質問票を作成するなどの工夫を検討してはどうか。 ・住民センター施設について、老朽化に伴う修理を実施する必要は理解するが、二重投資にならないよう、早期に建替えや統廃合も含めた検討をしてほしい。 				

施策名 (施策コード)	健康づくりの推進 (202)	内部評価	★★	外部評価	★
判定理由	<p>成果指標として掲げられた「がん検診受診率」は、府内平均と比較して概ね高い結果となっているが、平成25年度の目標には届いていない。また、健幸マイレージやワンコイン検診の導入など、できることから積極的に市民の健康増進に取り組んでいることが確認できるものの、平成25年度中にその効果が十分に表れているとは言い難いことから、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				

	<p>ただし、効果が十分に出なかった事業に対しては、早急に改善策を検討し、実施につなげるよう取り組んでいる点を高く評価する。平成 26 年度にその効果が表れるよう期待したい。</p>
<p>委員提案 (=平成 27 年度取組方針を策定する際に検討すべき意見)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検診の受診率を高めるような PR 手法を検討し、取り組んでほしい。 ・ 市内事業者と協力して、検診受診者に何かのサービス券や割引券を配布するなどはできないか。産業の活性化にもつながると思う。 ・ 保健センターの雨漏りの要因について把握に努め、そのうえで対策を検討してほしい。 ・ 「健康増進計画及び食育推進計画」の見直しに際しては、基礎調査を十分に実施し、働きかけるターゲットを明確にしたうえで、その特性に応じた取り組み方策を盛り込んでほしい。また、市民のニーズだけでなく、保健師等専門家の視点も十分に取り入れて目標や事業内容を検討してほしい。

施策名 (施策コード)	子育て支援の充実 (205)	内部評価	★	外部評価	★
判定理由	<p>目標を達成できていない成果指標が多いこと、主観的分析の結果およびヒアリング時の説明から今後対応すべき重要な課題が複数認められることから、内部評価と同様、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>ただし、財政面で制限があるなか、保育現場がさまざまな工夫を凝らして頑張っている点は高く評価したい。また、幼稚園の担当課との連携を強めるとともに、子ども子育て支援新制度の実施に向けた組織の見直しについても必要に応じて検討する必要があると考える。</p> <p>また、内部評価が概ね適切にかつ厳しく実施されており、ヒアリングにおける説明と併せて委員が納得できるものであった。</p>				
委員提案 (=平成 27 年度取組方針を策定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所で実施する避難訓練については、地域住民はもちろん保護 				

<p>する際に検討すべき意見)</p>	<p>者も参加してもらえるよう工夫してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の耐震化・津波対策は子どもの安全を確保する上で重要な取り組みであるため、確実に進めてほしい。 ・平成27年度からの子ども子育て支援新制度への移行については十分に検討・準備することで、これからも市民の多様な幼児教育・保育に対するニーズに積極的に対応してほしい。
---------------------	--

<p>施策名 (施策コード)</p>	<p>地域防災の推進 (301)</p>	<p>内部評価</p>	<p>★★</p>	<p>外部評価</p>	<p>★</p>
<p>判定理由</p>	<p>防災に関する市民出前講座を継続的に実施しており、他団体では大きな課題となることもある消防団員の充足率も100%に近い結果となっている。その一方で、地域における防災活動の要となる自主防災組織結成の自治会数、自主防災組織による訓練実施率ともに目標が達成できておらず、その代替策を講じられている様子が確認できなかったため、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>この施策については、市民が安全・安心に暮らせるという視点からも、いつ起きるかわからない災害への対策に、今まで以上に危機意識とスピード感をもって取り組む必要がある。行政として地域の長や役員などとコミュニケーションを図り、啓発するとともに、自主防災組織のみに頼らない防災訓練の実施など確実にできる取り組みを検討し、広めることを期待したい。</p>				
<p>委員提案 (=平成27年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校との連携、他の自治会との合同などさまざまな工夫を凝らすことで、防災訓練の実施を市内全域に広めてほしい。 また、このような取り組みを続けることで、地域におけるリーダーの発掘や自主防災組織結成につなげてほしい。 ・防災に関する他市の事例研究を積極的に行い、良い取り組みを取り入れてほしい。 ・避難訓練を実施する際には、その訓練で何を学ぶかを明確にして取り組んでほしい。 ・避難訓練は実施する地域の特性や課題にあわせて、内容を工夫し 				

	てほしい。
--	-------

施策名 (施策コード)	幼稚園教育の充実 (401)	内部評価	★★	外部評価	★★
判定理由	<p>幼稚園と保護者との関係が概ね良好であること、保護者や地域との交流も進められていることを確認することができた。また、成果指標である就園率の実績値は目標に達していないが、経年で比較するとほぼ横ばいであり、保育ニーズが高まっている今日にあって一定の幼児教育へのニーズを満たしていると考えられるため、「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p> <p>保育所の担当課との連携を強めるとともに、子ども子育て支援新制度の実施に向けた組織の見直しについても必要に応じて検討する必要があると考える。</p>				
委員提案 (=平成27年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度からの子ども子育て支援新制度への移行については十分に検討・準備することで、これからも市民の多様な幼児教育・保育に対するニーズに積極的に対応してほしい。 				

施策名 (施策コード)	学校教育の充実 (402)	内部評価	★★	外部評価	★★
判定理由	<p>目標を達成できていない成果指標はあるが、全国学力学習状況調査の結果を受けて授業を工夫したり、家庭や地域と協力して地域全体の教育力を高める取り組みを実施したりするなど、さまざまな場面で積極的な取り組みが確認されたため「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p> <p>ただし、学校施設の耐震化には早急に取り組む必要がある。また、団塊の世代の教員の退職による影響が児童生徒の教育や学校の運営に表れることのないよう、研修や引継ぎを十分に行うことも重要である。</p>				
委員提案 (=平成27年度 取組方針を策定 する際に検討す	<ul style="list-style-type: none"> 学力テストや体力テストの結果、不登校児童・生徒の復帰状況などを指標とすることはできないか。 				

るべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の内容が多岐にわたるため、施策全体を把握することが難しかった。また、施策シート作成にあたって難しい面があると考え。そのため、学校教育に関しては複数の施策に分解することも検討してほしい。
--------	---

施策名 (施策コード)	観光の振興 (501)	内部評価	★★	外部評価	★
判定理由	<p>目標を達成できていない成果指標については、天候に左右される面が大きいものの、実績値を向上させるために工夫できることを検討し、取り組む余地がまだ大きいと考える。阪南市の自然・歴史文化・食や農産物を交流させて、地域資源をつないで付加価値を高め、地域への流入人口を増やすという目的を市と共有し、実際の活動を担う団体が属する観光協会の設立が平成 26 年度であり、これからより具体的かつ活発な取り組みが期待されることから、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p> <p>しかしながら、これまでも観光振興対策として、ビーチバレーボール大会やボランティアガイドウォークといった様々なイベントを実施している点は評価できる。今後は、観光協会としっかり役割分担し、かつ連携をとりながら、阪南市の観光資源を磨き、情報を積極的に発信し、交流人口の増加と阪南市の魅力向上につなげることを期待したい。</p>				
委員提案 (=平成27年度 取組方針を策定 する際に検討す るべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内観光地についての情報を観光情報誌に掲載するなどの取り組みは効果が高いと考える。このようなアイデアをより多く実現させてほしい。 ・年間 10 万人が訪れる「わんぱく王国」、8 万人が利用する海水浴場などで、訪問者に支出してもらえるような対策を検討してはどうか。 ・温暖な気候や山間部の遊休地を活用し果樹園などの創設を検討してはどうか。 ・現状の観光ターゲットは、海水浴場や桜祭りなど季節が瞬間的で限定される。地方都市の知名度を上げる意味でも新たな観光開発 				

	が必要ではないか。
--	-----------

施策名 (施策コード)	安全で快適な交通環境づくり (605)	内部評価	★★	外部評価	★★
判定理由	<p>放置自転車対策や交通安全対策など、現時点で実施予定の事業が順調に進んでいることが確認できたため、「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p> <p>市民が安全で快適な道路環境のもと、安心して通行することができるよう、平成25年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」及び「道路舗装維持管理計画」について、市内での調整を進めながら着実に実施することを期待したい。</p>				
委員提案 (=平成27年度 取組方針を策定 する際に検討す べき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車対策には引き続き力を入れてほしい。 ・放置自転車対策には、安全対策、美化の観点から、条例の強化を検討してほしい。 ・稼働率が低い駐輪場については、今後このまま運営していくのかを検討する必要があるのではないか。 ・駐輪場の指定管理料について、利用料金からの収入で不足した分を踏まえて支払うという説明であったが、指定管理者の努力や工夫が指定管理料に反映されるようなくみとなるよう検討してほしい。 				

施策名 (施策コード)	人材育成の強化 (702)	内部評価	★★	外部評価	★
判定理由	<p>ただ一つ設定された成果指標の実績値が把握できていないことから、評価が困難であった。その他、記載事項及び口頭での説明から平成25年度の取り組み内容と工夫した点を概ね確認することができたが、市民ニーズや研修効果の測定、人事評価制度の構築、採用試験の見直しなど、「施策のめざす姿」の達成に向けて検討し実施につなげるべき点が多く残っているため、「施策のめざす姿にやや近づいている」と判断した。</p>				

	<p>市がめざす職員像や必要な能力要件を具体的に示し、その達成に向けて必要な取り組みにスピード感を持って着手するとともに進捗状況を検証することを期待したい。とくに平成 28 年度を目途に導入を検討している人事評価制度については、十分な検討と事前の研修の実施が必要と考える。</p>
<p>委員提案 (=平成 27 年度 取組方針を策定 する際に検討す るべき意見)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の対応が丁寧になっている。窓口での待ち時間も短くなり、職員の意識改革が進んでいるという印象を持っている。 ・ 他市の事例なども参考に、市民ニーズの把握や研修の効果測定の検討を進めてはどうか。 ・ 人材育成に関する個々の取り組みにおいても、実施後の評価検証は重要である。市民ニーズの把握や研修受講者の効果測定のための方法について、できることから検討・実施し、次の事業の実施に反映できるような仕組みを作ってほしい。

施策名 (施策コード)	健全な財政運営 (703)	内部評価	★★	外部評価	★★
判定理由	<p>成果指標として掲げた市税徴収率、経常収支比率が平成 24 年度よりも向上していることが確認できた。加えて実質公債費比率、将来負担比率も、増減はあるものの早期健全化基準を下回っていること、自主財源を確保するための取り組みを行うなど、市の財政状況が悪化しないよう市役所全体としてさまざまな努力・工夫をされていることが確認できたため、「施策のめざす姿に近づいている」と判断した。</p> <p>ただし、経常収支比率は依然として厳しい数値であり、これから施設の老朽化対策を計画的に実施する必要があるといった課題を抱えていることを忘れず、危機意識をもって、引き続き、健全な財政運営に努めるよう期待したい。</p>				
委員提案 (=平成 27 年度 取組方針を策定 する際に検討す るべき意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公有財産の管理利活用については、中長期的に将来を見据えて検討してほしい。 ・ 中長期で経常収支比率を 80% に近づけるための工夫・努力をして 				

	<p>ほしい。</p> <p>・財政状況が厳しいなか、公有財産に付加価値をつけて売却するという方法もとりうる手段の一つであることを理解してほしい。</p>
--	---

2. 阪南市の行政評価制度の見直しに係る提言

外部評価は今年度が導入初年度であったが、内部評価については、昨年度から導入されており、行政評価制度に対する職員の理解は一定深まってきているものと考えられる。

そこで、今後、より一層効果的な評価を行うために、行政評価制度の改善策として、下記の4つの事項を提言する。

なお、今回、提言した事項にどのように対応したかを来年度の内部評価の実施前に報告されることを期待する。

① 新しい成果指標の追加

評価対象とした施策の中には、施策の現状や課題、担当課の認識と既に設定された成果指標との関連が不十分・不明確なものがあった。総合計画に掲げる成果指標を用いて施策の目標達成状況を評価することの重要性は理解する。しかしながら、来年度以降も既存の成果指標のみで評価を実施するのは困難であることから、現状に即した新たな成果指標を追加するなどの手立てを講じる必要がある。

② 成果指標の目標値の再検討

評価対象とした施策の中には、成果指標の目標値をすでに達成したもの、目標値と実績値が大きくかい離しており目標値の妥当性に疑問が残るものなどが散見された。総合計画策定時に設定された成果指標の目標値に照らして施策の進行状況を確認することは重要であるが、より実態に即した評価を実施することができるよう、目標値の設定について再検討されることを期待する。

③ 住民意識調査の定期的な実施

住民意識調査の結果を成果指標の1つとしている施策がほとんどであるが、調査自体が平成22年度以降実施されていないため実績値の把握ができていない。毎年度実施する評価に住民の意向を反映することができるよう、少なくとも2年から3年に一度、定期的に住民意識調査を実施することが必要である。

④ 評価シート構成・項目の再検討

評価シートに記載された事項を見ただけでは、施策の現状や課題を理解することが困難であったため、「成果指標の実績値についての担当課の分析結果」、「評価対象年度に実施できたこと、実施できなかったこと」、「評価対象年度の実施状況を踏まえた今年度の取り組み内容」等を記載する項目を設けるなど、評価シートの構成を再度検討することが必要である。

3. 効率的・効果的な外部評価委員会の運営

今年度は、外部評価の導入初年度のため手探り状態のなかで委員会を運営してきた。結果として計5回の委員会を開催し、そのうち3回の委員会において、10施策の担当課を対象とするヒアリング及び判定区分等の協議を実施したが、時間的な制約もあり十分に議論を尽くしたとは言えない場面があった。

外部評価の精度を高めるには、各委員が施策の現状と課題を理解したうえでの確かな評価を実施することが必要不可欠であることから、委員会の回数、開催時刻、時間配分及び会議資料などを見直し、効率的かつ効果的な委員会運営に努めることとする。

4. 平成26年度 阪南市外部評価委員会開催日程

開催日時等	委員会の議事
第1回 6月12日 木曜日 18時30分から (会場) 市役所本庁 別棟第3・4会議室	①市長挨拶②委員紹介③委員長・副委員長の選出 ④市長から委員長へ諮問⑤外部評価実施要領(案) ⑥評価対象施策の選定⑦質問票の配布
第2回 7月3日 木曜日 18時30分から (会場) 市役所本庁 3階全員協議会室	①担当課ヒアリング 第1章 施策1「協働社会の形成」 第5章 施策1「観光の振興」 第7章 施策2「人材育成の強化」 ②判定区分等について協議
第3回 7月17日 木曜日 18時30分から (会場) 市役所本庁 別棟第2会議室	①担当課ヒアリング 第6章 施策5「安全で快適な交通環境づくり」 第2章 施策5「子育て支援の充実」 第4章 施策2「学校教育の充実」 第4章 施策1「幼稚園教育の充実」 ②判定区分等について協議
第4回 7月25日 金曜日	①担当課ヒアリング

18時30分から (会場) 市役所本庁 別棟第2会議室	第7章 施策3「健全な財政運営」 第3章 施策1「地域防災の推進」 第2章 施策2「健康づくりの推進」 ②判定区分等について協議
第5回 7月31日 木曜日 18時30分から (会場) 市役所本庁 別棟第2会議室	①外部評価のとりまとめ ②平成26年度外部評価委員会の振り返り

【阪南市外部評価委員 ※五十音順】

氏 名 (敬称略)	区 分	備考
荒木 勝二 (あらかき かつじ)	市民	
掛谷 純子 (かけや じゅんこ)	学識経験のある者	副委員長
澤田 恵美子 (さわだ えみこ)	市民	
高橋 謙一 (たかはし けんいち)	市民	
壬生 裕子 (みぶ ひろこ)	学識経験のある者	委員長